

年  組  番 名前

平成二十六年調査問題の問三の文章を読み、あとの問いについて考えましょう。

( \* 調査実施校以外の学校の皆さんは、学校に一部送付されている調査問題を先生に印刷してもらい、使用してください。 )

問一【文章の内容を整理し理解する。】文章を読んで次の表に内容を整理しましょう。

## スズメノテツポウ

性質	( 水 田 ) 型	( 畑 地 ) 型
種子の大きさ メリット、 デメリット	(例) 大きい 発芽の力が強く生存競争に有利。 生産される種子の数が少ない。	(例) 小さい たくさんの種子を残すことができる。 発芽の力が弱く生存率
生殖の方法 メリット デメリット	(例) 自家受粉 仲間がいなくても確実に子孫が残せる。 遺伝的な多様性が低い。	(例) 他家受粉 親とは異なる能力を持った種子ができる。 相手がいなければ受精できない。 受粉効率が低く花粉の量もよけいに必要。
スズメノテツポウの「種子の大きさ」「生殖の方法」の選択理由の説明 (筆者の考え)	(例) ・ 田んぼは農作業の時期がおおよそ決まっているためそれに適応した能力を持つよう発達した。大きく充実した少しの種子を自家受粉によって残し、自分の能力を後世に伝えてきた。	(例) ・ いつ耕されるかわからない状況下で他家受粉する余裕がなく、リスクも大きい。 ・ 変化の激しい畑地では多様性のある集団の方が生き残る可能性が高いからできるだけ種子をたくさん残すことを優先している。

説明的文章の内容によっては、表などにまとめたり、図で表したりすることで内容が分かりやすく整理されるよ。



問一【段落の内容構成をとらえる。】

(1) 次の説明にあてはまるのはどの段落でしょうか。

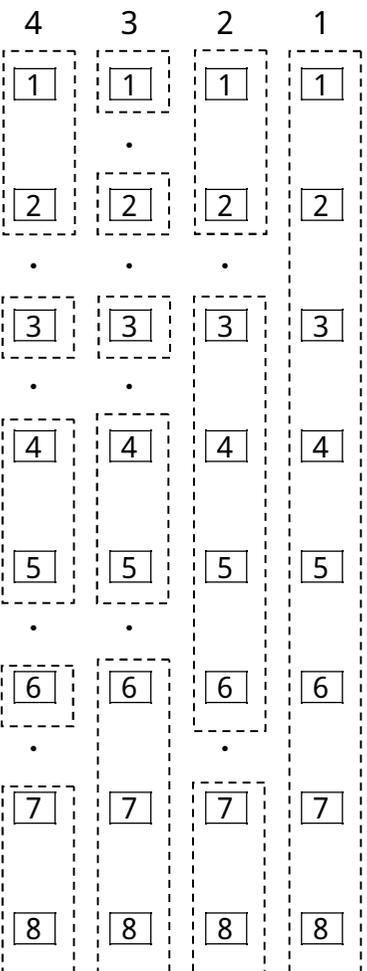
種子の大きさについて書かれている段落。(2) 段落

スズメノテツポウが種子の大きさと生殖の方法をどう選択したかを簡潔に示している段落。(5) 段落

「水田型」について具体的な例を示して種子の大きさと生殖の方法の選択の理由を説明している段落。(7) 段落

(2) この文章の段落構成はどうなっているでしょうか。次の中から一つ選びましょう。

(2)



段落の内容理解と前後の段落との関係をとらえることが大切だよ。



問三【論理の構成や展開をとらえ、部分的な内容を正しく理解する。】

次の部分は、どういうことですか。比喩的に用いられている語句の意味をふまえて説明しましょう。

(1) 6段落「バラエティに富んだ後継者を送り出したほうが有利なのである。」

(例) いつ耕されるかわからない変化の激しい畑では様々なタイプの子孫を残す必要があり、多様性のあるほうが子孫を残すためには有利にはたらくということ。

(2) 7段落「農事暦に適応した専門家集団として発達した。」

(例) 「水田型」のスズメノテツポウが、作物の種まきや収穫などの農作業の時期に適応した子孫を残す方法を選択し発達しているということ。

多くの説明的文章には、抽象的な語句や比喩的な語句が使われています。まずは語句の意味を辞書や事典で調べよう。そしてその語句が文章の中でどのように使われているかを考えてみよう。また、具体的な例をあげて説明している部分をさがし、その内容から語句の意味を考えることも大切だよ。

